学校適正配置に関わる保護者アンケートの結果について

今年３月にまとめた「小・中学校適正配置計画（素案）」（広報せんぼく４月号掲載）では、今後「中学校統合の組合せ」および「中学校統合の時期」の調整を図り、成案化を目指すこととしています。

このたび、この２つの調整課題に関する保護者アンケートを実施し、結果がまとまりましたのでお知らせします。

今後、この結果をふまえ、保護者、地域住民および教職員などと意見交換を行い、施設改修などの準備作業と合わせて総合的に検討し、今年度内の計画策定を目指して進めます。

1　中学校統合の組み合わせについて（生保内中学校の再編の方向）

1　対象・実施方法・回答数など

生保内学区の園・小・中の児童生徒がいる世帯へ配布し、担任を通じて回収。

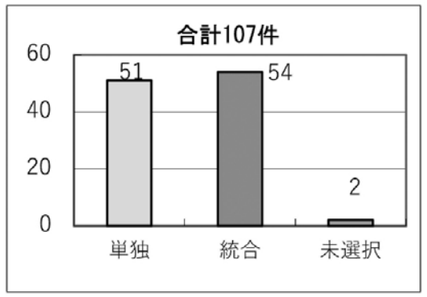
学区	対象世帯	回答世帯	回答率
生保内	190世帯	107世帯	56.3%

2　設問

生保内中学校の再編について、
どちらが望ましいと思いますか。
【選択式】①単独（生保内単独で存続）
②統合（生保内・神代・西明寺・桧木内４校で統合）

3　結果

⇒「統合」がやや多い。



単独：47.7%　統合：50.5%　未選択：1.8%

4　記述欄の要旨（主なものを多い順に）

●統合が望ましい／
▶多くの仲間と切磋琢磨できる環境で成長してほしい
▶多様な考えに触れて視野を広げてほしい
▶学校生活、部活動、行事などが活発になる
▶中学校から多人数の学校生活に慣れてほしい
▶生徒数の減少は明らかであり早く統合してほしい

●単独が望ましい／
▶遠くなると通学負担が増えることに不安がある
▶生保内地域から中学校をなくさないでほしい
▶オンライン授業や合同学校行事などによりできるだけ存続してほしい
▶学校がなくなると地域の衰退が心配される

●その他／
▶統合してもそれぞれの地域とつながりをもった活動を行ってほしい
▶地域の将来ビジョンを示してほしい
▶市民の大半が納得できる計画にしてほしい

2　中学校統合の時期について

1　対象・実施方法・回答数など

生保内、神代、西明寺、桧木内学区の園・小・中の児童生徒がいる世帯へ配布し、担任を通じて回収。

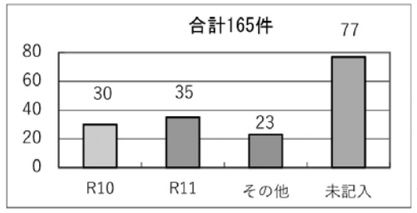
学区	対象世帯	回答世帯	回答率
生保内	190世帯	107世帯	56.3%
神代	153世帯	54世帯	35.3%
西明寺	133世帯	37世帯	27.8%
桧木内	47世帯	20世帯	42.6%
計	523世帯	218世帯	41.7%

2　設問

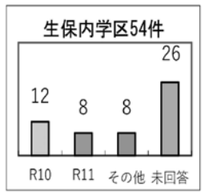
中学校統合の時期（令和10または11年度）に関し、ご意見などがある場合はお書きください。
※記述式

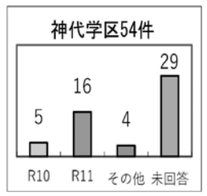
3　結果

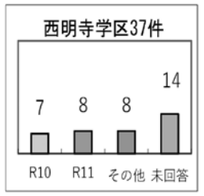
⇒全体としては「令和11年度」がやや多い。
※記述内容から望ましい統合年度を分類しグラフ化（生保内学区は「統合が望ましい」と回答があった54件の集計）。



R10　18.2%
R11　21.2%
その他　13.9%
未回答　46.7%







4　記述欄の要旨（主なものを多い順に）

●令和11年度統合が望ましい／
▶11年度に新校舎（神代小改修）に統合する方が、落ち着いた状態で学校生活をスタートできる
▶10年度に仮校舎（神代中改修）に統合しても、翌年度移転があるため慌ただしい
▶10年度統合だと中学３年間で３度校舎が変わる学年が生じるなど環境変化が大きすぎる
▶仮校舎の神代中は老朽化が進んでいて、１年間のために改修に費用や労力をかけるのはもったいない

●令和10年度統合が望ましい／
▶多人数の学校生活を早く経験させたい
▶部活動のチーム編成が難しくなるため早い方がいい
▶生徒数の減少が進んでいるため早い方がいい

●その他／
▶不安が生じないように決めてくれればいつでもいい
▶令和10または11年度統合はまだ早い

学校適正配置に関する取り組み状況は、市ホームページ内でご覧いただけます（学校適正配置計画（素案）、これまでの検討委員会の会議記録、意見交換会の開催結果、アンケート結果など）。

教育委員会学校適正配置準備室
（西木庁舎）☎43 - 3381